

長谷川流域における有機フッ素化合物のモニタリング調査結果（R8.2月）について

令和8年3月11日 広島県環境保全課

1 概要

- 昨年9月以降、呉市及び東広島市の長谷川流域の河川・水路及び地下水において、有機フッ素化合物（以下「PFOS等」という。）が指針値50ng/L^{*}を超過していることが確認された。（84ng/L～1,000ng/L）
- これに伴い、この地域における河川等の水質の推移を継続的に監視するため、県、呉市及び東広島市が連携し、指針値超過がみられた河川・水路7地点及び地下水1地点においてモニタリング調査を実施することとし、令和8年2月10日に第1回目の調査を実施した。

※1 体重50kgの人が一生涯、毎日2リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば健康に悪影響が生じないと考えられる水準

2 調査結果

(1) 調査実施日

令和8年2月10日

(2) 調査結果（調査地点は別図参照）

- 今回調査を行った河川・水路7地点と地下水1地点において、引き続きPFOS等が指針値を超過していることを確認した。（62ng/L～1,000ng/L）
- なお、地下水については、飲用に利用されていないことを確認済みである。

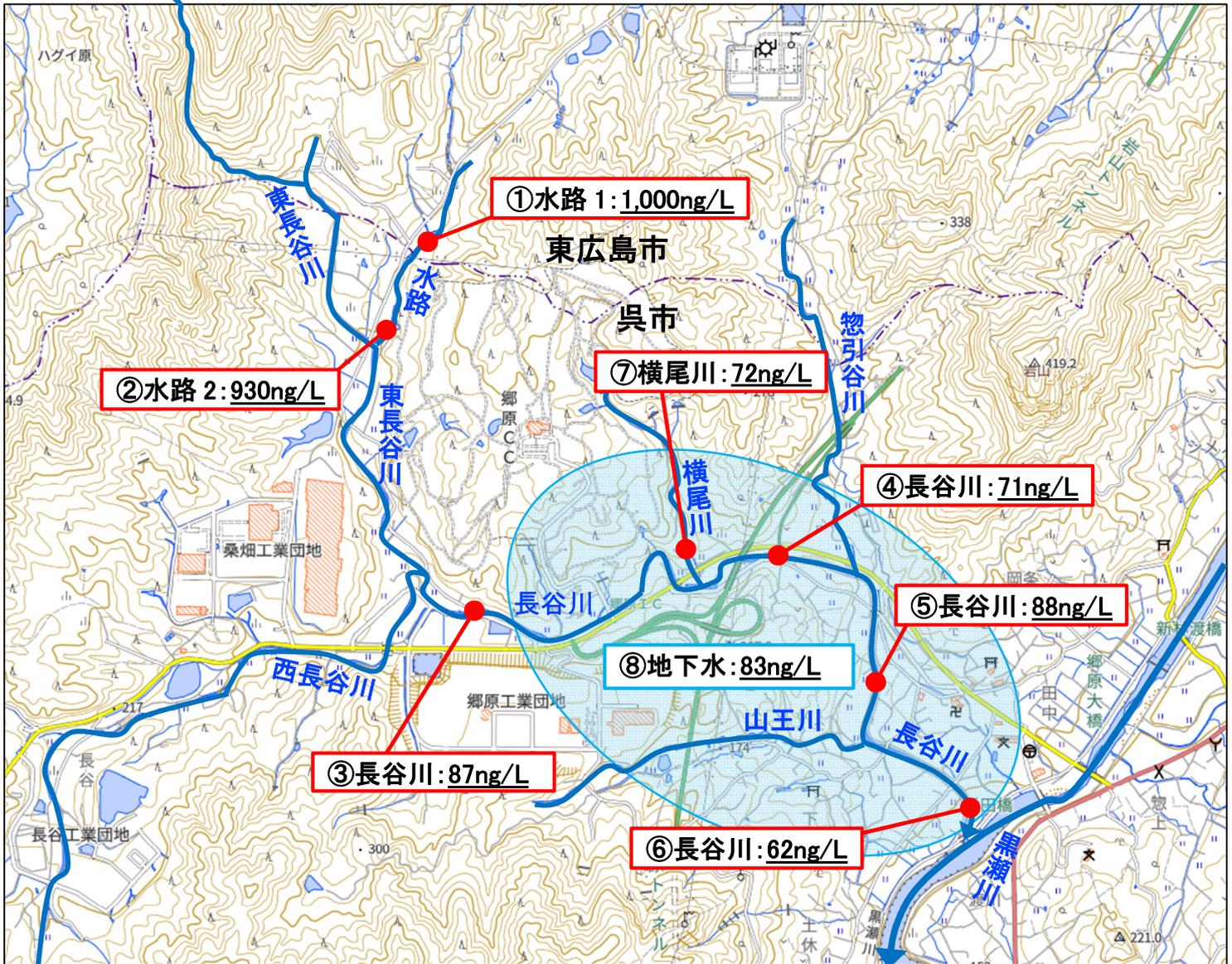
調査地点 ^{※2}	PFOS及びPFOA(合算値、ng/L)		調査機関	指針値
	前回調査結果 R7.9-10月	今回調査結果 R8.2月		
① 水路1	<u>1,000</u>	<u>1,000</u>	県・東広島市	50ng/L (PFOS及びPFOA の合算値)
② 水路2	<u>990</u>	<u>930</u>	呉市	
③ 長谷川	<u>140</u>	<u>87</u>		
④ 長谷川	<u>120</u>	<u>71</u>		
⑤ 長谷川	<u>95</u>	<u>88</u>		
⑥ 長谷川	<u>84</u>	<u>62</u>		
⑦ 横尾川	<u>100</u>	<u>72</u>		
⑧ 地下水	<u>96</u>	<u>83</u>		

※2 地下水は井戸所有者にご協力いただき調査しているため、詳細な採水地点については公表を差し控える。

3 今後の対応

- 国が定めた「PFOS及PFOAに関する対応の手引き 第2版」（令和6年11月環境省）に基づき、県は、呉市及び東広島市と連携し、指針値を超過した河川・水路及び地下水について、引き続き定期的な水質調査を実施し、水質の推移を監視する。

(別図) モニタリング調査地点位置図 (●河川調査地点、■地下水調査区域)



電子国土 WEB (国土地理院) を加工して作成

(別表) 今回の調査結果の詳細

調査地点		濃度 (ng/L)			調査機関	指針値
		PFOS 及び PFOA (合算値) ^{※3}	PFOS	PFOA		
①	水路 1	<u>1,000</u>	64	1,000	県・東広島市	50ng/L (PFOS 及び PFOA の合算値)
②	水路 2	<u>930</u>	66	860		
③	長谷川	<u>87</u>	5.7	82	呉市	
④	長谷川	<u>71</u>	4.4	67		
⑤	長谷川	<u>88</u>	5.1	83		
⑥	長谷川	<u>62</u>	3.4	58		
⑦	横尾川	<u>72</u>	3.8	68		
⑧	地下水	<u>83</u>	4.5	78		

※3 調査結果は有効数字2桁で処理した値を掲載しているため、「PFOS 及び PFOA (合算値)」の値は必ずしも「PFOS」「PFOA」の結果の合算値とは一致しない。